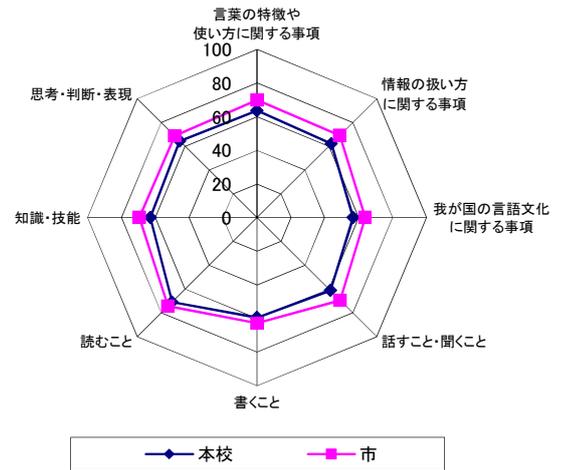


宇都宮市立細谷小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	63.6	69.9	72.3
	情報の扱い方に関する事項	62.2	69.2	73.0
	我が国の言語文化に関する事項	56.8	63.8	66.0
	話すこと・聞くこと	61.3	69.5	71.5
	書くこと	59.5	62.8	67.1
	読むこと	70.9	74.4	73.7
観点別	知識・技能	62.9	69.4	71.9
	思考・判断・表現	64.4	68.8	70.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

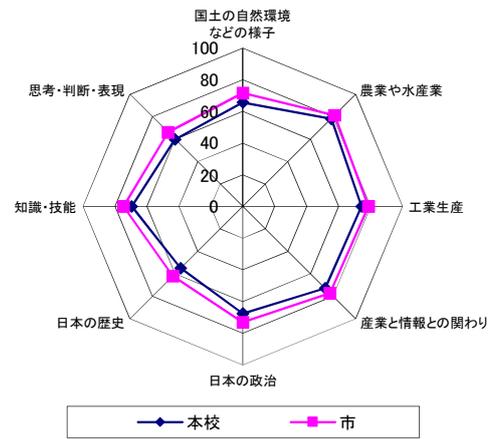
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○●漢字の読みに関する問題は、市の平均正答率と同程度かやや下回っているが、漢字の書きに関する問題は市の平均よりかなり下回っている。口語でよく使われる言葉や物を表す名詞の正答率は高めだが、「均等」などの文章の中で使われる熟語や熟語の成り立ちについての理解が十分でないことがうかがわれる。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・語彙力を高めるための読書活動を引き続き推進していくとともに、熟語が文章の中で使われることを意識した学習方法を紹介するようにする。 ・本校独自の実践である漢字オリンピックを継続して行い、漢字習得に向けての意欲を高めていく。
情報の扱い方に関する事項	●情報と情報の関係について理解し、整理する問題の正答率は、75.7%であったが、整理したことを目的に応じて文章に表す問題の正答率は、48.6%であった。いずれも市の平均正答率より6ポイントから8ポイント下回った。	・いくつかの情報の中から必要なものを選び、組み合わせて整理する活動を説明的文章を読み取る中で指導していく。また、読み取りの基礎となる音読などの基礎基本の学習をこれまで以上に重点的に指導するようにする。
我が国の言語文化に関する事項	●語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語についての理解を問う問題の正答率は、56.8%で市の平均より7ポイント下回った。	・漢字の学習では、音読み、訓読みを意識しながら熟語を理解し、記憶するような学習方法を取り入れていく。
話すこと・聞くこと	●意図に応じ質問を工夫する方法を問う問題の正答率は、52.7%で市の平均より13.5ポイント下回った。CDを聞いて答える問題は、3題あったがどれも市の平均正答率を下回った。	・引き続き人の話を集中して聞く習慣作りに努め、それをもとに友達の意見を聞くことへとつなげるようにする。
書くこと	○自分の意見とその理由を明確にして書くことについては、市の平均84.2%と同程度であった。 ●2段落構成で書くことについては、正答率48.6%で、市の平均より16.6ポイント下回った。	・段落構成については3年生からの読み取りで意識させるとともに、文章を書く時の段落の整え方を繰り返し指導するようにする。
読むこと	○物語文を読んでまとめた意見や感想を共有したり、自分の考えを広げたりする問題では、正答率が83.8%で、市の平均を約5ポイント上回った。 ●説明的文章については、文章全体の構成について理解しているかを問う問題の正答率は、54.1%で、市の平均より7.2ポイント下回った。	・説明的文章の読み取りでは、形式段落のまとまりを意識して文章を読み取る活動や、中心となる語句に着目して要旨を読み取る活動を引き続き行っていく。また、読みの基礎となる音読については、家庭との連携の下、個々の力を一層高められるようにしていく。

宇都宮市立細谷小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	65.7	71.6	67.5
	農業や水産業	78.4	81.5	82.1
	工業生産	74.3	78.7	70.8
	産業と情報との関わり	73.0	77.2	68.2
	日本の政治	67.6	73.1	77.9
観点別	日本の歴史	55.1	62.0	65.8
	知識・技能	69.5	74.6	74.5
	思考・判断・表現	60.0	66.2	65.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

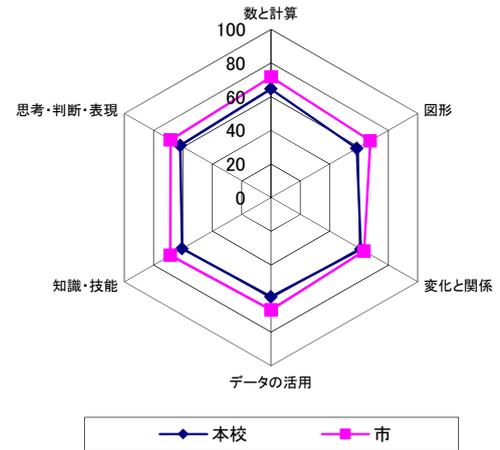
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は65.7%で、市の正答率71.6%より5.9ポイント低かった。 ●韓国の国旗と位置についての設問では、本校の正答率は60.8%で市の正答率は72.7%より11.9ポイント低かった。 ●日本の主な地形の名称と位置をもとに、地図を読み取る問題では、本校の正答率は28.4%で市の正答率37.1%より8.7ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図・地球儀を活用した授業展開を考える。 ・4・5学年のときに、都道府県をしっかりと覚えられるようにする。
農業や水産業	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は78.4%で、市の正答率81.5%より3.1ポイント低かった。 ●都道府県の位置と農産物の産地の理解をもとに、地図を読み取る問題の正答率は74.3%で、市の正答率79.6%より低かった。 ○カントリーエレベーターや地産地消の取り組みの理解は、市の正答率との差はほとんどない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料生産に関する理解度は高いので、今後も様々な資料の読み取りを通して理解を深めていくことが必要である。
工業生産	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は74.3%で、市の正答率78.7%より4.4ポイント低かった。 ●キャリアカーと船に着目して、自動車の出荷の工夫を捉え、空欄に言葉を埋める問題の正答率は58.1%で市の正答率62.2%より4.1ポイント低かった。 ●日本の輸出品の資料を読み取る問題の正答率は73.0%で、市の正答率81.5%より8.5ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から読み取ったことを、まとめる活動を多く設定していく。 ・資料を読み取る時、「○○の方が△△よりも高くなっている。(低くなっている。)」など、生産量や金額などを比べて読み取る学習を多くしていく。
産業と情報との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は73.0%で、市の正答率77.2%より4.2ポイント低かった。 ○資料に着目して、コンビニエンスストアの発注システムについて捉え、判断する問題の正答率は55.4%で、市の正答率62.8%より7.4ポイント低くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことに対して、気付いたことや分かったことを自分の言葉でまとめられるようにする。 ・多くの情報の中から、必要な情報を抜き取ることができるようにする。
日本の政治	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は67.6%で、市の正答率73.1%より5.5ポイント低かった。 ●日本国憲法についての理解は、正答率67.6%で市の正答率76.6%より9ポイント低かった。 ●基本的人権の尊重について、生活の中の具体例をもとに判断する問題の正答率は77.0%で市の正答率84.8%より7.8ポイント低かった。 ●図に着目して、国民による政治の仕組みを判断する問題の正答率は41.9%で、市の正答率50.0%より8.1ポイント低かった。 ○税金についての問題では、正答率は83.8%であり、市の正答率80.8%より3ポイント高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の理解や基本的人権の理解に関しては、自分たちの生活に結びつけて考えられるように指導していく。 ・新聞作りなどを積極的に取り入れ、法律や政治の役割等をまとめる活動を通して、日本の政治のしくみを深く理解できるようにしていく。
日本の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は55.1%で、市の正答率62.0%より6.9ポイント低かった。 ●奈良時代の資料に着目して、日本の文化に遣唐使が与えた影響を考え表現する問題の正答率は27.0%で市の正答率35.3%より8.3ポイント低かった。 ●室町時代の文化についての設問では、正答率44.6%で、市の正答率58.1%より13.5ポイント低かった。 ●豊臣秀吉の政策に着目して、共通点を判断する問題の本校正答率は59.5%で、市の正答率74.6%より15.1ポイント低かった。 ○江戸幕府の幕閣について適切な見出しを判断 	<ul style="list-style-type: none"> ・各時代における政治・くらし・文化についての特徴をまとめる活動を仕組んでいく。 ・課題解決学習を取り入れ、疑問をもとに関心をもって調べ学習に取り組めるように支援していく。

宇都宮市立細谷小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	64.6	71.8	76.2
	図形	58.4	67.7	67.8
	変化と関係	61.3	63.4	62.7
	データの活用	59.0	66.7	61.5
観点別	知識・技能	60.7	68.6	70.7
	思考・判断・表現	61.9	68.5	66.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

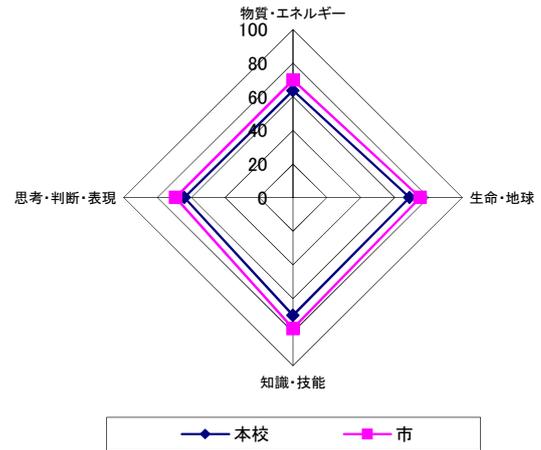
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は64.6%で、市の正答率71.8%より7.2ポイント低かった。 ○小数の計算問題の正答率は78.4%で市の正答率75.9%よりも2.5ポイント高かった。 ○分数×分数の計算は91.9%で市の正答率87.9より4.0ポイント高かった。 ●分数の除法の文章問題にあった式を選ぶ問題では、正答率が35.1%で市の正答率48.7%よりも13.6ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、基本的な四則計算を定着させるように指導していくとともに、本校独自の計算オリンピックを継続し、意欲を高めていく。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は58.4%で、市の正答率67.7%より9.3ポイント低かった。 ○合同な三角形を作図する問題では、83.8%で市の正答率85.2%と同程度であった。 ●直方体を組み合わせた体積を求める問題では、56.8%で市の正答率75.7%よりも18.9ポイント低かった。 ●円と四角形を組み合わせた問題では、18.9%と市の正答率41.3%よりも22.4ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形や三角形の面積等の公式を学習する際には、等積変形の考え方を使って図形のいろいろな見方について話し合うなど、問題解決学習を取り入れるとともに、重点的に練習問題を解く時間を増やし、定着させられるように工夫して指導する。
変化と関係	<ul style="list-style-type: none"> ○本校の正答率は61.3%で、市の正答率63.4%と同程度であった。 ○時速を秒速や分速に直す問題では、62.2%で市の正答率59.8%よりも2.4ポイント高かった。 ●割合から混み具合を求める問題では、74.3%で市の正答率80.0%よりも5.7ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・割合の問題は、3年生の「何倍かを求める問題」に始まる。学年を経るごとに数値が複雑化していくことを踏まえ、基準量は何なのかを意識できるように、丁寧に指導していく。 ・思考・判断・表現の力を伸ばすために、図や式や絵を使って説明させる時間を全ての単元で実施する。
データの活用	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は59.0%で、市の正答率66.7%より7.7ポイント低かった。 ●平均を求める問題では、68.9%で市の正答率80.3%よりも11.4ポイント低かった。 ●グラフから正しい情報を選ぶ問題では、51.4%で市の正答率57.8%よりも6.4ポイント低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表値の求め方とその値の意味について、繰り返し指導し定着を図る。 ・問題とグラフのそれぞれから読み取る力が弱いので、国語や社会と関連付けて指導していく。

宇都宮市立細谷小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	63.7	69.9	67.8
	生命・地球	68.8	75.1	73.7
観点別	知識・技能	70.0	77.8	78.4
	思考・判断・表現	64.1	69.4	66.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○ふりこの決まりからメロノームのテンポを速くする方法を答える問題では、本校正答率59.5%で市の平均57.9%と歩b同等である。</p> <p>●電流の強さと電磁石の働きの関係調べるためにどの実験を比較すればよいかを指摘する問題の正答率は、40.5%で市の正答率56.8%より16.3ポイント下回っている。</p>	<p>・今後も学習したことが生活の中の道具に使われていることを意識して紹介していく。</p> <p>・実験するときには、比較するもの以外の条件を同じにすることを理解できるように指導していく。</p>
生命・地球	<p>○酸素や二酸化炭素以外の空気中に含まれている気体を理解しているかを見る問題の正答率は、86.5%で市の平均88.9%と同程度である。</p> <p>●アイガモ農法は食物連鎖を利用してイネの成長を助けていることを記述する問題の正答率は、43.2%で市の正答率56.6%を13.4ポイント下回っている。</p>	<p>・今後も、実験する体験を大切に、実験前後の学習を丁寧に指導していく。</p> <p>・提示資料を読んで得た情報と授業で学んだことを関連付け、言葉で表現する指導・支援をしていく。</p> <p>・産業の工夫や生活の中の事象が、理科の授業で学んだことと深く関わっていることに気付き、論理的に考えられるような支援をしていく。</p>